

ゼッケンドルフの自筆書簡と エルンスト敬虔公のメダル

川 又 祐

- 1 はじめに
- 2 ゼッケンドルフの自筆書簡
- 3 エルンスト敬虔公のメダル
- 4 おわりに

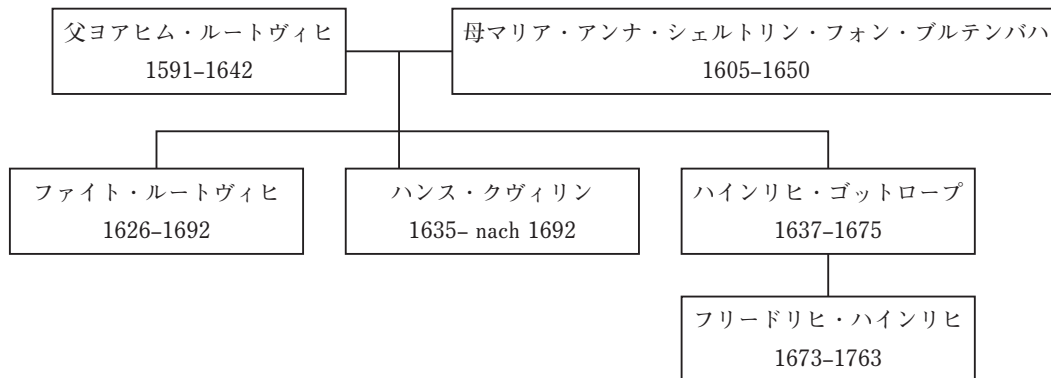
1 はじめに

ゼッケンドルフ（Veit Ludwig von Seckendorff. 1626–1692）はドイツ官房学派の代表者の一人であり、来年2026年は、彼が誕生した1626年から生誕400年となる。再来年2027年は、1727年にドイツの大学において官房学の講座が創設されて300年となる。

本稿では、こうしたゼッケンドルフの自筆書簡と、彼が仕えたエルンスト敬虔公（Ernst der Fromme. 1601–1675. 公に関しては Gelbke を参照せよ）を象ったメダルを紹介する。ゼッケンドルフは図1のように、父ヨアヒム・ルートヴィヒ（Joachim Ludwig von Seckendorff. 1591–1642）⁽¹⁾と母マリア・アンナ・シェルトリン・フォン・ブルテンバハ（Maria Anna Schertlin von Burtenbach. 1605–1650）の長男として誕生した。弟にハンス・クヴィリン（Hanß Qvirin von Seckendorff. 1635– nach 1692）⁽²⁾と、末弟ハインリヒ・ゴットロープ（Heinrich Gottlov von Seckendorff. 1637–1675）

がいる (図1 参照)。ちなみに末弟ハインリヒ・ゴットロープの子は、軍人、外交官として活躍したフリードリヒ・ハインリヒ・フォン・ゼッケンドルフ (Friedrich Heinrich von Seckendorff. 1673-1763)⁽³⁾である。ゼッケンドルフたちは、父が謀反の罪で斬首されたため、その後は母によって育てられた。ゼッケンドルフはザクセン・ゴータのエルンスト敬虔公に見いだされ、エルンスト敬虔公に重用されることになる。彼は、エルンスト敬虔公の宮廷内で学問を学び、1648年に侍従 (Cammerherr) として出仕する。出仕後は順調に出世し、彼は宰相 (カンツラー、Canzler) に就任する。官僚としての実務経験を積むことでエルンスト敬虔公からの信頼を勝ち取ったのである。ゼッケンドルフは1656年に代表作『ドイツ君主国』(*Teutscher Fürsten Stat*) を発表する⁽⁴⁾。君主鑑として書かれた本書は版を重ね、1727年に官房学が大学教科として創設された後には、本書は教科書としても利用され、18世紀においてもその影響力を保持した。

図1 ゼッケンドルフ家系図



出典 (参照) Rechter, Übersichttafel between pp.120 and 121. Kuntke, p.395.

2 ゼッケンドルフの自筆書簡

今回紹介するゼッケンドルフの自筆書簡は、後述するように Inlibris 社から筆者が2009年に入手したものである。この書簡には弟ハンス・クヴィリンも登場する。ハンス・クヴィリンは残念ながら、兄や弟ハ

インリヒ・ゴットロープの陰に隠れた不遇の人生を送ることになる。

筆者が作成した本書簡の書誌は次の表のとおりである。

表1 ゼッケンドルフの宛名不明自筆書簡

Title	[Letter] 1658 August 6, Gotha, to Ehrnvester, Groszachtbarer, besonders vielgünstiger Herr und Freundt / VLvSeckendorff
Author / Contributor	Veit Ludwig von Seckendorff
Created / Published	Gotha
Year	1658 August 6.
Medium	1 sheet ([4] p. ; 23 × 28.1 [31.6] cm). folio. [π] ² [π]1 [π]1 ^r : p.1 (text), [π]1 ^v : p.2 (text and signature). [π]2 [π]2 ^r : p.3 [blanc], [π]2 ^v : p.4 [address sheet]. [π]2 is detached.
Notes	Holograph signed Paper watermarked : unknown watermark. Letter begins: Ehrnvester, Groszachtbarer, besonders vielgünstiger Herr und Freundt ...

書簡の大きさは縦23cm、横31.6cmである(図2参照)。本書簡は、ゼッケンドルフの署名(Signature)のあるページを上(表)にして、右から3.5cmの位置で二つ折り(folio)にされている(谷折り)⁽⁵⁾。この折り方は、書簡を折りたたんだ際に本文や署名のインクが完全に乾いておらず、折られた部分にそれらの一部が転写していることから確認できる(図3、図5参照)。したがって、本書簡は全4ページで構成されている(図3参照)。折り記号(Signature)を仮に「π」とし、折丁を「[π]²」と表すことにする。この場合、[π]1の表面(1ページ目、recto)には本文が書かれ、裏面(2ページ目、verso)には本文の続きとゼッケンドルフの署名が記されている。[π]2は、折り目の余白部分を残して切り取られており、[π]2の表面(3ページ目、recto)は空白と思われる。あるいは後述の「同封計算書」に関する記述があったかもしれない。裏面(4ページ目、verso)には、おそらく宛名が書かれていたと考えられる。さらに、折り目部分には、後の所有者が糸で綴じたと思われる痕跡が数か所残されている(図2、図4参照)。これらの特徴から、本書

簡は筆者の手元に渡るまでに、さまざまな所有者のもとを経てきたことがうかがえる。

図2 書簡の大きさと糸綴じの跡

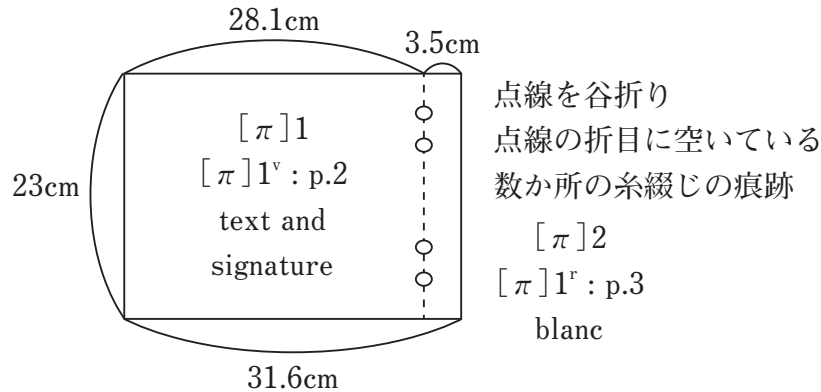
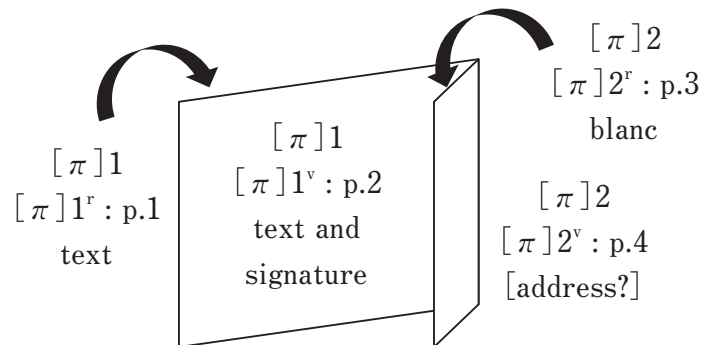


図3 谷折りされた書簡の折丁



(1) 書簡の背景

1656年に『ドイツ君主国』を公刊した後ゼッケンドルフは、エルンスト敬虔公の長子ヨハン・エルンスト (Johann Ernst, 1641-1657) が1657年にオランダ訪問をする際 (9月15日から10月31日まで)、随行している⁽⁶⁾。その後ヨハン・エルンストは同年12月31日に歿している。翌1658年1月に営まれたヨハン・エルンストの葬儀では、11日にゼッケンドルフの弟ハンス・クヴィリンが追悼講演を行っている (Cf., Hanß Qvirin von Seckendorff)⁽⁷⁾。1658年春、エルンスト敬虔公はアムト巡察を行う。これに伴い、ゼッケンドルフにも特定のアムト (ヴァクセンブルク [Wachsenburg]、イヒタースハウゼン [Ichtershaußen]、トンドルフ [Tondorff])

に対する巡察が命じられている⁽⁸⁾。書簡が作成された8月のこの時期、ゼッケンドルフは通常の業務に加えて、こうした巡察業務に忙殺されていたと思われる。

ゼッケンドルフの末弟のハインリヒ・ゴットロープもゴータの宮廷内で昇進を遂げている。一方、弟ハンス・クヴィリンの経歴・消息に関する情報はゼッケンドルフが残した資料を見る必要がある⁽⁹⁾。ゼッケンドルフは、ハンス・クヴィリンにしっかりとした教育を施し、1653年から1658年までヘルムシュタットとゴータで学ぶための資金を提供した。だがハンス・クヴィリンは、大酒飲みでギャンブル狂い（ein Saufaus und leidenschaftlicher Spieler）であった（Cf., Rechter, p.112）。彼は生涯、借金問題でゼッケンドルフたちに大きな迷惑をかけていたという。

（2）書簡の由来

このような、エルンスト敬虔公に仕える多忙な業務、そして弟ハンス・クヴィリンへの資金提供という背景の下で書かれたのがゼッケンドルフの書簡なのである。本書簡はシュタールガルトの販売カタログ「Autographen und Urkunden aus drei Jahrhunderten Katalog 684. J. A. Stargardt. 2006.」に掲載・販売されていたものである。その後、2009年にウィーンのAntiquariat Inlibris社から発売されたが、それを入手したのが筆者である。シュタールガルトのカタログは次のような説明であった（Stargardt, p.36）。

82 SECKENDORFF, Veit Ludwig von, Polyhistor und Staatsmann; der „Hilfreiche“ der Fruchtbringenden Gesellschaft, 1626–1692. Br. m. U. u. E. Gotha 6. VIII.1658. 12/3 S. folio. Heft-spuren, gering braunfleckig, Adreßblatt abgetrennt ...

An den Rat einer Stadt in einer geschäftlichen Angelegenheit.

... Bitte für dißmahl an Hrn. Baltzer Westermann, wegen meines

Bruders ... 11 Rhl: ..., und den wenigen rest ... zu den 100 Rhl: setzen, und darüber eine cession auff zukünftigen Termin Johannis 1658 balden ausfertigen zulaßen, ... dagegen will ich die Fabrische cession und mortification außhändigen ... - Aus der Sammlung Rötger.

82 ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ、大学者、政治家。結実協会の「慈悲深き人」⁽¹⁰⁾、1626-1692。署名と結びのあいさつ入り書簡 (Brief mit Unterschrift und E[Empfehlungsformel].)、1658年8月6日、ゴータ。1と2/3ページ。二つ折り。製本 (糸綴じ) の跡あり。かすかな日焼け。宛名用紙は切除されている…。ある都市の参議官に宛てた業務案件 [書簡]。
[都市参議官に宛てて]「…今回、わが弟のために11ライヒスターラーをバルツァー・ヴェスターマン氏に〔支払うよう〕要請… (省略)」。レトガー・コレクション由来。

また Inlibris 社から筆者に提供された情報は

1. Seckendorff, Veit Ludwig von, Gelehrter und Staatsmann, gen. “der Hilfreiche” (1626-1692). - Brief mit eigenh. Empfehlungsformel und U. - Gotha, 6. VIII. 1658. - 1 2/3 SS. Folio. - In einer geschäftlichen Angelegenheit an den Rat einer Stadt: “[...] Bitte für dießmahl an Hrn. Baltzer Westermann, wegen meines Brudern Hanß Quirin vom Seckendrof, 11 Rhl 11 gl 6 xr, und den wenigen rest, alß 21 Rhl 20 gl 6 xr Zu den 100 Rhl setzen, und darüber eine cession auff zukünftigen Termin Johannis 1658 balden außfertigen zulaßen, damit sich hierunter keine enderung zutragen möge, dagegen will ich die Fabrische cession und mortification außhändigen [...]”. - Veit Ludwig von Seckendorff, als “der Hilfreiche” Mitglied der Fruchtbringenden Gesellschaft, “gilt

als Hauptvertreter des älteren deutschen Kameralismus” (Wikipedia). “Neben theologischen, philologischen und staatsrechtlichen Schriften waren vor allem seine staatstheoretischen Werke von großer Bedeutung, in denen er den deutschen Territorialstaat als Organisation wohlwollend-paternalistischer Reglementierung des Individuums beschrieb” (DBE)⁽¹¹⁾. - Papierbedingt etwas gebräunt sowie leicht angestaubt und mit geringfügigen Läsuren, im ganzen jedoch sehr wohlerhalten.

1. ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ、学者、政治家、「慈悲深き人」と呼ばれる (1626-1692)。直筆による結びのあいさつ表現と署名付き書簡 (Brief mit eigenhändiger Empfehlungsformel und Unterschrift)、1658年8月6日、ゴータ。1と2/3ページ。二つ折り。ある都市の参議官に宛てた業務案件〔書簡〕：「…今回、わが弟ハンス・クヴィリン・フォン・ゼッケンドルフのために11ライヒスターラー11グルデン (ギルダー) 6クロイツァーをバルツァー・ヴェスターマン氏に〔支払うよう〕要請… (省略)」…「神学上の、言語学上のそして国法上の著作と並んで、とりわけ彼の国家理論の著書は大きな意義を持っている。その中で彼はドイツ領邦国家を、個人を慈悲深く、父権的に統制する組織であると記述している」⁽¹¹⁾。紙の性質上、いくらか日焼けしており、またやや旧くなっている。些細な損傷あり。全体としては良好に保存されている。

であった。シュタールガルトのカatalogによれば、本書簡のかつての所有者は草稿収集家レットガー (Gotthilf Sebastian Rötger, 1749-1831) (Cf., Janicke, pp.303-305)⁽¹²⁾である可能性が高い。ただし、レットガー・コレクションの詳細は不明である。

(3) 書簡の内容

では書簡の内容を見てみよう。まず書簡表面の1ページ上部には、本文とは異なる筆跡で、そして異なるインクを使用した次の書き込みがある。

Nr. 4424.

Veit Ludwig Seckendorf.

(Zuletzt) Churbrandenbl. Geheimer Rath und Kanzler

zu Halle. P. Jöcher

「4424番。

ファイト・ルートヴィヒ・ゼッケンドルフ。

(最終的に) 選帝侯国ブランデンブルクの枢密参議官そしてハレの学長。イエッヒャー教授。」

このイエッヒャーは、『総合学者辞典』(*Allgemeines Gelehrten-Lexicon*)を編纂したクリスティアン・ゴットリーブ・イエッヒャー (Christian Gottlieb Jöcher, 1694-1748) である。したがって、この書き込みはイエッヒャーの『総合学者辞典』を参照していると思われる (Cf., Jöcher, pp.464-466)。そして注 (12) にある Wikipedia の記載が信頼できるものであれば、これはおそらく、色褪せしているものの赤インクを使用したレトガー本人の書き込みと思われる。

本文の翻刻は次の通りである。下線や、Rhl (Reichstaler) への二重線は原文のままである。単語が途中で改行されている場合、原文では「„」が使用されているが、翻刻ではハイフン「-」に置き換えている。

【翻刻表面 p.1】 (図4参照)

Ehrnvester, Groszachtbarer, besonders vielgünstiger
Herr und Freundt.

Welchergestalt die abgefertigten C. C. Rathß alhier vor dißmahl depechirt, werden Sie zu ihrer anheimkunfft zu referiren haben, meine wenige angelegenheit belangende, acceptire ich das erbieten, daß mir auff künfftigen Termin eine anweisung auff meinen rest, und noch auff 200 fl Meißnisch zinßbar Capital, so ich an mich erlangen und anzeigen werde, angewiesen werden sollte ; Eß ersiehet aber der Herr auß beygefügetem richtigem calculo, daß mir ohnfehlbar noch 33 Rth : 8 gl. gebühren, welche ich billig baar erheben sollte, Bitte für dießmahl an Hrn. Baltzer Westermann, wegen meines Brudern Hanß Qvirin vom Seckendorff, 11 Rth 11 gl 6 xr, und den wenigen rest, alß 21 Rth : 20 gl 6 xr zu den 100 Rth : setzen, und darüber eine cession auff zukünfftigen Termin Johannis 1658 balden außfertjgen zulaßen, damit sich hierunter keine enderung zutragen möge, dagegen will ich die Fabrische[Fabrische] cession und mortification auß händigen[außhändigen], und wegen deß Rathß alhier der obligation wegen einen gewissen schein nehmen, damit beiden theilen, wo eß künfftig zur ablösung kommen sollte, kein praeiuditz er[-]

【翻刻裏面 p.2】 (図 5 参照)

wachßen könne, ich will zwar der güte wegen noch fleiß ankehren, werde itzo gehindert wegen bevorstehender Churfürstl. außrichtung alhier, Mein vielgünstiger Herr helffe alles folgendß zum stand bringen, ich will hinkünfftig gemeiner Stadt hinwiederümb alle gebührliche förderung zuerweisen nicht vergeßen sein, maßen sie hoffentlich ein anders auch von mir nicht verspühren, Göttl. obhut Unß hiermit empfehlende. Signatum Gotha den 6. Augusti Anno 1658.

Ihr freiwilliger freund

VLvSeckendorff

Veit Ludwig von Seckendorff

本書簡は、17世紀のドイツ語であり、全文を和訳することは筆者にとって非常に困難であるので、その大意を示すことにとどめたい。まず、ある都市の参議官へ宛てたとされるものは「尊敬すべき、高貴なる、とりわけ好意に溢れる閣下にして友よ」である。この友人に対して「来る期日において私への残金、さらにマイセン貨200フローリンの利息付元金に対する為替 (anweisung)」をゼッケンドルフが受け取れるように要請している。しかも、「同封された正確な計算書から、明らかにまだ33ライヒスターラー 8 グルデンの支払い」をゼッケンドルフが受け取れると考えている。そのため「今回はバルツァー・ヴェスターマン⁽¹³⁾氏に対して、私の弟ハンス・クヴィリン・フォン・ゼッケンドルフのために、11ライヒスターラー 11 グルデン 6 クロイツァーをおあてがい〔お支払い〕下さい」。そして「わずかな残金21ライヒスターラー 20 グルデン 6 クロイツァーは100ライヒスターラー」におあてがい〔ご充当〕下さい」。そのことに関して「来る1658年の聖ヨハネの日を期日に速やかに譲渡証書 (cession) の発行をお認め下さい」と相手方に要請している。…1658年8月6日、ゴータにて署名。あなたの誠実な友人 VLv Zeckendorff ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ⁽¹⁴⁾。

ゼッケンドルフは、書簡の相手方である友人に対して債権を有している。そこで彼は相手方が、バルツァー・ヴェスターマンに対して11ライヒスターラー 11 グルデン 6 クロイツァーを支払うことで、その債務を履行するよう求めているのである。本書簡によって、ゼッケンドルフは、ヴェスターマンを介して弟ハンス・クヴィリンがこの金額を受け取れるように手配していることが分かる。「同封の計算書」があれば、相手方とゼッケンドルフの間の債権債務関係がより明瞭になるで

あろうが、それは叶わない。ゼッケンドルフは、「来る1658年の聖ヨハネの日」を期日とした譲渡証書の作成を願っているが、この聖ヨハネの日が具体的にいつなのかは不明である。

書簡に用いられている用紙にはやや複雑な透かし模様がある。残念ながら、本文のインクが重なっていて、そのはっきりとした模様を読み取することはできない（図6参照）。

3 エルンスト敬虔公のメダル

ゼッケンドルフが仕えたエルンスト敬虔公を象ったメダルを紹介する。このメダルは2024年、Münzenhandel Knopik 社から筆者が入手した。同社からの情報は次の通りである。

Sachsen-Neu-Gotha

Ernst der Fromme 1640–1675

Zinnmedaille 1673 CS. Auf die Frömmigkeit.

Brustbild Ernst des Frommen halbrechts/ sitzende Pietas mit Füllhorn und Palmwedel

Slg. Merseburger 3049. 46.04mm 33.66g.

Erhaltung: selten, kratzer, sehr schön

「〔表面に〕 ザクセン・ノイ・ゴータ エルンスト敬虔公〔像〕在位1640–1675年 錫製メダル 1673年 CS。〔裏面に〕、敬虔〔を表すピエタス像〕 エルンスト敬虔公の半分右向きの胸像、豊穡の角と棕櫚の葉（Füllhorn und Palmwedel）を持って、座っている女性ピエタス〔像〕メルゼブルガー・コレクション 3049番 〔直径〕46.04mm 〔重さ〕33.66g. 保存状態：希少、ひっかき傷あり、とても良好」

ここで言及されているのは、鑄貨収集家オットー・メルゼブルガー

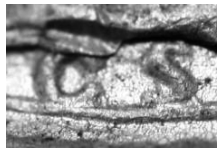
(Otto Merseburger. 1822-1898) のコレクションである。そのカタログ132ページの3049番にこのメダルが記載されている (*Sammlung*, p.132)。そこには次の説明がある。

3049. Zinn-Med. 1673. Erhab. Brustb. v. vorn. Rs. Sitz. Frömmigkeit m. Füllhorn u. Palmenzweig. Tentz. 62, IV. Dassd. 2337. Dm. 45. Vorz. e.

前段は「3049番 錫製メダル。1673年。表面は浮き彫り (erhaben) の胸像。裏面、豊穡の角と棕櫚の枝 (Palmzweig) を持って、座っている敬虔なる女性〔像〕」である。後段の Tentz 以下には、出典 (文献) が示されている。前半の「Tentzel 62, IV.」は、テンツェル (Wilhelm Ernst Tentzel. 1659-1707) の『ザクセンの貨幣研究』(*Saxonia Numismatica*) を指している。後半の「Dassd. 2337.」は何を表す番号であるかは特定できていない。最後の「Dm. 45. Vorz. e.」は「直径 45mm、保存状態は非常によい (Durchmesser 45. Vorzüglich erhalten)」と思われる。本メダルの図版 (Dux Ernestus Gothanus. Tab 62 IV.) がこの『ザクセンの貨幣研究』の中で解説とともに掲載されている (Tentzel, Tab 62 IV. between pp.754 and 755. 図7参照)。また、本メダルはゲッティンゲン大学が所蔵しており⁽¹⁵⁾、画像も公開されている (図8参照)。

ここで著者が作成した、メダルの書誌を見よう (表2参照)。

表2 エルンスト敬虔公のメダル

Title	Medal of Ernest the Pious (Ernst der Fromme)
Author / Contributor	CS 
Created / Published	[Gotha]
Year	[1673]
Medium	Tin
Dimensions	Diameter 46mm Thickness 5mm Weight 33.6g. Axis 12:00
Notes	ERNESTUS. D. G. DUX. SAX. in GOTH. & ALT CS Pietas In Silentio Et Spe [1673] Sammlung Otto Merseburger, p.132 : 3049. Zinn-Med. 1673. Erhab. Brustb. v. vorn. Rs. Sitz. Frömmigkeit m. Füllhorn u. Palmenzweig. Tentzel, <i>Saxonia Numismatica</i> , Tab. 62 IV between p.754 and p.755, pp.759-761.

メダルは錫製である。メダルの作者名・彫刻者名は後述するように不明である。制作年代は、メダルの数字が潰れており判然としないが、上述の情報にしたがえば1673年である。

(1) 大きさ

メダルの直径は46mmである。エルンスト敬虔公が浮き彫りされているので、メダルの厚さは5mmとなっている。重さは33.6gである。軸（メダルの表面裏面の上下位置）は12:00に設定されている。これは、メダルの上下の向きを変えずに、上下の軸（12時と6時をつなぐ縦軸）をそのままに回転させて裏返した場合、上下位置が反転せず、表面に描かれるエルンスト敬虔公の胸像と裏面に描かれるピエタス像が正しい構図で向き合っていることを意味する。

(2) 表面 (Obverse) : エルンスト敬虔公の胸像

エルンスト敬虔公が顔を45度ほど右に向けた胸像が描かれている
(図9参照)。胸像の周囲に、そして胸像の右腕付け根に

ERNESTUS. D. G. DUX. SAX. in GOTH. & ALTenb

[Ernestus Dei Gratia Dux Saxoniae in Gotha & Altenburg]

「神の恩寵によるゴータおよびアルテンブルクにおけるザクセン公エルンスト」

CS

とラテン語が刻まれている。エルンスト敬虔公は、1672年、相続によってアルテンブルクを獲得している。それが翌年に制作されたメダルに反映されて、彼の支配地にアルテンブルクが加えられているのである。胸像は、伸ばした髪が両肩にかかっている。首元には大きなレースと思われる襟飾り (Ruff) が見える。公は髭を蓄えている。鋳がほどこされた鎧を身に着けており、軍装をしている。そして右肩からマントあるいはサッシュ (Sash) のような布をまとっている⁽¹⁶⁾。額から右目にかけての部分、そして右肩周辺部分が摩耗している。「CS」はメダルの作者名・彫刻者名の頭文字と思われるが詳細は不明である⁽¹⁷⁾。

(3) 裏面 (Reverse) : ピエタス像

敬虔を表す女性ピエタスが、素足で45度ほど体を右に向けながら椅子に座っている (図10参照)。ピエタスは髪飾り (植物の冠?) をしているように見える。服装は古代ローマ風の長衣を着ている。両袖とも折り返されており、肘から先の腕が見えている。その右手は豊穡の角を、左手は棕櫚の葉 (Palmwedel) を持っている。腰は帯あるいは紐で縛っている。髪や、肩から垂れている布が風になびいている一方で、豊穡の角からは実があふれて零れ落ちている。表面のエルンスト敬虔公の胸像に比べて、裏面のピエタス像は非常に躍動感がある。これらはエ

エルンスト敬虔公の治世が敬虔（ピエタス）、繁栄（豊穡の角）、勝利（棕櫚の葉）をもたらしていたことを象徴していると思われる。残念ながら顔や胸、お腹、豊穡の角の螺旋部分、そして右手から右足部分が摩耗している。この女性ピエタス像の周囲には

In Silen tio Et Spe [In silentio et spe]

Pietas

1673

「沈黙と希望のうちに ピエタス 1673」

と読めるラテン語文字が刻まれている。「沈黙と希望のうちに」は聖書のイザヤ書30章15節に由来している。これはエルンスト敬虔公の格言、モットーでもあった。

メダルの制作地は明記されていないが、制作年の1673年は、もちろんエルンスト敬虔公が存命中であり、その居城フリーデンシュタイン城（Friedenstein）が位置するゴータで制作された可能性が高い。

エルンスト敬虔公とゼッケンドルフは結実協会（Fruchtbringende Gesellschaft）に所属していた^{(18) (19)}。結実協会の象徴が棕櫚の木であったので、エルンスト敬虔公との関連で棕櫚の木が図柄として選ばれたのかもしれない。

4 おわりに

現在、ゼッケンドルフが活躍した、そして彼が仕えたエルンスト敬虔公の居城があったゴータでは、GOTHA. digital という事業が進められている。またさらにこれと、Kalliope との連動も深化している⁽²⁰⁾。これらは、ゼッケンドルフやエルンスト敬虔公などの歴史的な関連資料をデジタルアーカイブ化し、カタログ化して公開する事業となっている。この事業によって、日本に居ながらにして、ゼッケンドルフや

弟ハンス・クヴィリンに関する資料の種類・内容や、それらを所蔵している機関が分かるようになった。またこれによって、ゼッケンドルフの学際的研究を推進する大きな手段を私たちは手に入れたことになる。そしてそれらから、今回紹介したゼッケンドルフの書簡と関連する資料を見つけることができるかもしれない。

注

- (1) ゼッケンドルフの父に関しては、ブローデ (Brode) の著作を参照せよ。
- (2) 弟ハンス・クヴィリンの名 Hanß Qvirin は、「Johann Qurin」(Cf., GOTHA.digital. Rechter, p.112. Kuntke, p.40)、「Qvirinus」(Cf., Niceron, p.301)、そして「Hanß Quirin」(大学図書館書誌)と表記されることもある。Cf., <https://opendata.uni-halle.de/handle/1981185920/97337?mode=full>
ハンス・クヴィリンに関してはレヒター (Rechter) とクントウケ (Kuntke) を参照せよ。
- (3) フリードリヒ・ハインリヒに関しては、クントウケ (Kuntke) を参照せよ。
- (4) ゼッケンドルフは俗界統治に関しては『ドイツ君主国』を、聖界統治に関しては『キリスト教徒国』(*Christen-Stat.* 1685)を著している。
- (5) 書簡にはほかにも多数の折目の跡がある。ゼッケンドルフ自身が書簡作成・送付時に付けた折目なのか、後の所有者が付けた折目なのかは判然としない。
- (6) ヨハン・エルンストの随行旅行に関しては、パーナー (Cf., Pahner, pp.12-13. 川又訳、86ページ)、ルーゲ (Cf., Ruge, pp.20-21. 川又訳、150-151ページ)などを参照せよ。
- (7) 追悼講演は、フリーデンシュタイン城のホールにおいて多くの参列者を前に行われた。ヨハン・エルンストの亡骸は城の宮廷教会に葬られる。
ハンス・クヴィリンの『講演』は、追悼講演本文 (pp.[1]-[9])
I キリスト教徒の死の歌 (Christliches Sterbe Lied auf den Fürstl. Namen JOHANN ERNST HERZOG ZU SACHSEN, JULICH, CLEVE UND BERG) (pp.[10]-[11])
II 嘆きと慰めの歌 (Klag- und Trost-Lied) (pp.[12]-[14])
2つの合唱隊の合唱 (Beyde Chör zusammen)
各合唱隊が交互に歌う1行〔詩の合唱〕(Jeder Chor eine Zeile umb die ander)から構成されている。これは当日の葬儀の進行を表している。ハンス・クヴィリンの追悼講演の後、まずキリスト教徒の死の歌が歌われる。この歌は、JOHANN ERNST HERZOG ZU SACHSEN, JULICH, CLEVE

UND BERG の JOHANN の J から BERG の G まで、44文字を頭文字とし、44行の詩で歌われる。4行で1節となり11番まで韻を踏みながら歌われる。すなわち1.JOHA 2.NNER 3.NSTH 4.ERZO 5.GZUS 6.ACHS 7.ENIU 8.LICH 9. CLEU 10.EUND 11.BERG までの11番である。葬儀の説教後、Ⅱ嘆きの歌と慰めの歌を2つの合唱隊が交互に歌う。そして2つの合唱隊が交互に歌詞を1行ずつ合唱する、というものである。

- (8) Cf., Kommission für Veit Ludwig von Seckendorff zur Visitation der Beamten der Ämter Wachsenburg, Ichtershausen und Tonndorf. Signatur: LATH-StA Gotha, Geheimes Archiv JJ VII Nr. 4, Bl. 100v. 12.05.1658.
<https://www.kalliope-verbund.info/de/ead?ead.id=DE-611-HS-4027864>

- (9) Kalliope (注(20)参照) で「Seckendorff, Johann Quirin von」を検索すると464件が検索できる。

- (10) 「慈悲深き人」の翻訳は、Stolleis、訳275ページ、注42を参照した。

- (11) ここで言及されている「DBE」は、*Deutsche Biographische Enzyklopädie* からの引用である (Cf., Bd., 9. p.253)。

- (12) ヤニケの言及のほかに、Hessische Biografie には、レットガーが「神学者、文献学者、教育者、自筆文書収集家、国会議員」であるとの記載がある。
<https://www.lagis-hessen.de/pnd/115378480>

さらに出典は不明であるが、「Rötger war ein eifriger Sammler von Handschriften seiner Zeitgenossen. Seine Sammlung umfasste einige tausend Stücke, jedes Einzelne war sorgfältig mit Tinte in Rot bezeichnet. Seit etwa 1998 tauchen die Autografen im Handel auf」(レットガーは、同時代の人々の手稿の熱心な収集家であった。彼のコレクションには数千点が含まれており、それぞれに赤いインクで丁寧に特徴が表示されている。自筆文書は1998年頃から〔取引に〕出回っている)との記載もある。(Cf., Wikipedia, “Gotthilf Sebastian Rötger”)

https://de.wikipedia.org/wiki/Gotthilf_Sebastian_R%C3%B6tger

- (13) ヴェスターマンの詳細は不明である。Kalliope で “Baltzer Westermann” を検索しても資料は残っていないようである。

- (14) ゼッケンドルフは署名を2度書きしている。表記や字体をあえて変えることで、本書簡がゼッケンドルフの直筆であることを強調していると思われる。

- (15) Georg-August-Universität Göttingen, Münzkabinett.

https://www.deutsche-digitale-bibliothek.de/item/SXQXWN3SZ765X7J3M2TFP337AKX5HXEW?utm_source=chatgpt.com

https://www.kenom.de/objekt/record_DE-MUS-062622_kenom_384341/1/

- (16) この胸像 (図9) とほぼ同じ図柄、軍装の肖像画が存在している。ザントラールト (Jacob von Sandrart. 1630–1708) 作のエルンスト敬虔公肖像画を参照せよ (図11)。

- (17) 「CS」が刻印されているメダルがかつて MA-Shops で販売されたことがある。やはり「CS」の詳細は不明である。

https://www.ma-shops.nl/knopek/item.php?id=9269&srsltid=AfmBOooRZBK_InhorFTW00TbRhHv5wvoEyIHvWhRObQilJNez2J9ZTwo

- (18) 結実協会についてはヴォルフエンビュッテルのアウグスト公図書館 (Herzog August Bibliothek Wolfenbüttel) のウェブページを参照せよ。

<http://www.die-fruchtbringende-gesellschaft.de/>

http://www.die-fruchtbringende-gesellschaft.de/index.php?article_id=16

<https://diglib.hab.de/mss/ed000035-3b/start.htm?image=00050>

http://www.die-fruchtbringende-gesellschaft.de/index.php?article_id=16&wWidth=1455&wHeight=632

- (19) エルンスト敬虔公は、協会に1619年に入会し、会員番号は19である。メリアン (Merian, Matthaeus der Ältere. 1593-1650) は会員を、名前 (Nahmen)、韻を踏んだ八行詩で説明される目標 (Vorhaben)、植物を象った象徴画 (Gemählde)、そして象徴語 (Wort) で表している (Merian, (b). Kurtzer Bericht. 折記号 : g ij-g iij)。エルンスト敬虔公 (ここでは E.H.Z.S. Ernst Herzog zu Sachsen) の画像 (Merian, (b). 折記号 : E iij) では、彼の名前は「苦く甘き人」(Der Bittersüße)、象徴語は「両方に正しい」(Auff Beide recht)、象徴画はヴォルフエンビュッテルのアウグスト公図書館 (Herzog August Bibliothek Wolfenbüttel) の説明によると「小さな家 (殻) が開いているユダヤのサクランボ (ホオズキ) (Eine Jüden Kirsche mit jhrem Häußlein auffgethan)」(Cf., 019 Ernst I. von Sachsen-Gotha (Der Bittersüsse))、そして韻 (d と t) を踏んだ八行詩は

[Merian (b) 折記号 : E iij]

Wen man die Jüdenkirsch' anrürt mit blosser hand/

So wird gar bitter sie/ den süssen schmack verlieret:

Drumb Bittersüß' ich bin genant in einem stand/

Der geht auff beyde recht: In böser welt gespüret

Mehr bittres wird als guts/ mit uns also bewand

Sols sein/ das wan bey uns das sticheln zorn gebieret/

Wir doch in unserm thun gelinde/ süß' und gut

Erfunden werden/ so man keinem leid nicht thut.

である。しかし、Merian (a) では異なった八行詩が記載されている (Merian (a) 折記号 : E iij)。

Wenn man mit blosser Hand die Jüdenkirsch anrühret/

So wird gar bitter sie/ den süssen Schmack verliehret;

Drumb bin ich Bitter-Süß genannt auff beyde recht/
 Weil in der bösen Welt/ man nicht soll seyn so schlecht;
 Wenn man ein frommes Hertz in seiner Ruhe lasset/
 Und mit den Sticheln nicht den Zorn herausser presset/
 So bleibt es in seim Thun gelinde/ süß und gut/
 Hiergegen wehrt sich der/ der keinem Leid sonst thut.

一方、ゼッケンドルフは、

“Veit-Ludwig von Seckendorf Fürstl. Sächs. geheimer Raht und Cantzler zu Zeitz. Der Hülfreiche. Steinspargen. Vor waklende Zähne.”

「ザクセン侯国枢密参議官、ツァイツの宰相ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ。慈悲深き人。石のアスバラガス（石シュパルゲン）。「ぐらつく歯に」と表現される（Neumark, p.392）。ゼッケンドルフは、1654年に入会し、会員番号は615である。彼の教会における名前は「慈悲深き人」（Der Hülfreiche）、象徴語は「ぐらつく歯に」（Vor waklende Zähne）、彼を象徴する植物は「石のアスバラガス（石シュパルゲン）」（Steinspargen）である（Cf., 615 Veit Ludwig von Seckendorff (Der Hülfreiche)）。これらは、薬草を思わせる石のアスバラガスのように、ぐらつく不安定な社会に援助の手を差し伸べるゼッケンドルフの姿を表すものなのかもしれない。残念ながら、八行詩と象徴画は存在しないようである。

(20) GOTH.A. digital、そして Kalliope に関しては次のウェブページを参照せよ。

<https://gotha.digital/>

<https://gotha.digital/projekte/projekte-detail/content/24/2/3?cHash=bfd5cca8c45a69b3f4fcfa2580904ada>

<https://kalliope-verbund.info/en/index.html>

参考文献

“019 Ernst I. von Sachsen-Gotha (Der Bittersüsse)”

“615 Veit Ludwig von Seckendorff (Der Hülfreiche)”

ヴォルフエンビュッテルのアウグスト公図書館 (Herzog August Bibliothek Wolfenbüttel) が運営公開している「結実協会」ページ

Fruchtbringende Gesellschaft. Die deutsche Akademie des 17. Jahrhunderts.

<http://www.die-fruchtbringende-gesellschaft.de/>

http://www.die-fruchtbringende-gesellschaft.de/index.php?article_id=16

Brode, Reinhold. “Die schwedische Armee nach dem Prager Frieden und die Enthauptung des Obristen Joachim Ludwig von Seckendorff.” in :

Jahrbücher der Königlichen Akademie gemeinnütziger Wissenschaften zu Erfurt. Neu Folge. Heft XXII. Erfurt, 1896. Verlag von Carl Villaret. (Inhaber : Hugo Friedrich.). pp.113–153.

https://zs.thulb.uni-jena.de/rsc/viewer/jportal_derivate_00212010/Jahrbuecher_Akademie_Erfurt_NF_1896_22_0001.tif?logicalDiv=jportal_jparticle_00289110

Fürstlich Waldecksche Hofbibliothek. Klebebände (Band 1). ハイデルベルク大学公開資料 (エルンスト敬虔公肖像)

<https://digi.ub.uni-heidelberg.de/fwhb/klebeband1/0193/image,info>

<https://doi.org/10.11588/diglit.3863#0193>

Gelbke, Johann Heinrich (hrsg). *Herzog Ernst der Erste genannt der Fromme zu Gotha als Mensch und Regent. Eine historische Darstellung aus Acten und bewährten Druckschriften gezogen und mit einem Urkundenbuche.* Gotha, bey Justus Perthes. 1810. 3 Bde.

Janicke, Karl, “Rötger, Gotthilf Sebastian” in: *Allgemeine Deutsche Biographie.* Bd., 29. 1889. pp.303–305.

[Online-Version] ; URL: <https://www.deutsche-biographie.de/pnd115378480.html#adbcontent>

Jöcher, Christian Gottlieb (hrsg). “von Seckendorff (Veit Ludewig)” in : *Allgemeines Gelehrten-Lexicon, darinne die Gelehrten aller Stände sowohl männ- als weiblichen Geschlechts, welche vom Anfange der Welt bis auf iletzige Zeit gelebt, und sich der gelehrten Welt bekannt gemacht, nach ihrer Geburt, Leben, merckwürdigen Geschichten, Absterben und Schrifften aus den glaubwürdigsten Scribenten in alphabetischer Ordnung beschrieben werden.* 4. Theil, her aus gegeben von Christian Gottlieb Jöcher. Leipzig. 1751. Unveränderter Nachdruck. Hildesheim. Georg Olms Verlagsbuchhandlung. 1961. pp.464–466 (二段組).

Killy, Walter, und Vierhaus, Rudolf (hrsg). *Deutsche Biographische Enzyklopädie.* Bd., 9. München. K.G. Saur. 1998.

Kuntke, Bruno. *Friedrich Heinrich von Seckendorff (1673–1763).* Husum. Matthiesen Verlag. 2007.

Merian (a), Matthaeus der Ältere. *Der Fruchtbringenden Gesellschaft Vorhaben, Nahmen, Gemähld Vnd Wörter. Nach jedweders einnahme ordentlich In kupffer gestochen mit Vndergesetzten teutschen Reimen.* [Frankfurt, Main] : [Merian], [1630]

<https://kxp.k10plus.de/DB=1.28/SET=3/TTL=1/MAT=/NOMAT=T/CLK?IKT=8062&TRM=Fruchtbringenden+Gesellschaft+Vorhaben%2F+Nahmen%2F+Gema%CC%88hlde+Und+Wo%CC%88rter>

Wolfenbuettel Digital Library - Sources

<http://diglib.hab.de/wdb.php?dir=mss/ed000035-3b&pointer=0>

<http://diglib.hab.de/mss/ed000035-3b/start.htm?image=00051>

Merian (b), Matthaeus der Ältere. *Der Fruchtbringenden Gesellschaft Nahmen, Vorhaben, Gemähle und Wörter : Nach jedes Einnahme ordentlich in Kupfer gestochen, und In achtzeilige Reimgsetze verfasset, Das Erste Hundert. Franckfurt am Mayn, Bey Mattheo Merian. 1646. Mit Georg Philipp Harsdörffers Fortpflanzung der Hochlöblichen Fruchtbringenden Gesellschaft : Das ist/ Kurtze Erzählung alles dessen/ Was sich bez Erwehlung und Antretung hochbesagter Gesellschaft Oberhauptes/ Deß Höchteursten und Wehrtesten Schmachhaften/ begeben und zugetragen. Samt Etlichen Glückwünschungen/ und Einer Lobrede deß Geschmacks. Gedruckt zu Nürnberg/ bey Michael Endter/ Im Jahre 1651. Nachdruck. Kösel-Verlag. München. 1971.*

Wolfenbüttel Digital Library - Sources

<http://diglib.hab.de/drucke/17-4-1-eth/start.htm?image=00053>

https://books.google.co.jp/books?vid=BL:A0022133648&redir_esc=y

Merseburger, Otto. *Sammlung Otto Merseburger umfassend Münzen und Medaillen von Sachsen. Albertinische und Ernestinische Linie. Zu den beigesetzten Preisen zu beziehen von Zschiesche & Köder, Leipzig, Münzenhandlung. Mit zwei Tafeln. Verlag Zschiesche & Köder, Leipzig, 1894.*

https://digital.slub-dresden.de/werkansicht?tx_dlf%5Bid%5D=78783&tx_dlf%5Bdouble%5D=1&tx_dlf%5Bpage%5D=1

[Neumark, Georg]. *Der Neu-Sprossende Teutsche Palmbaum. Oder Ausführlicher Bericht, Von der Hochlöblichen Fruchtbringenden Gesellschaft Anfang, Absehn, Satzungen, Eigenschaft, und deroelben Fortpflanzung, mit schönen Kupfern ausgeziehret, samt einem vollkommenen Verzeichniß, aller, dieses Palmen-Ordens Mitglieder Derer Nahmen, Gewächsen und Worten, hervorgegeben Von dem Sprossenden [Georg Neumark].* Zufinden bey Joh. Hoffman Kunsth. in Nürn[b]erg]. Drukts, Joachim-Heinrich. Schmid in Weinmar/ F. S. Hof-Buchdr. [1668]

<https://www.digitale-sammlungen.de/en/view/bsb11093578?page=6>

Niceron, Johan Peter. *Nachrichten von den Begebenheiten und Schriften berühmter Gelehrten mit einigen Zusätzen herausgegeben von Friedrich Eberhard Rambach. Siebenzehnter Theil. Halle, Verlag und Druck Christoph Peter Franckens, 1758. pp.300–343.*

Pahner, Richard. *Veit Ludwig von Seckendorff und seine Gedanken über*

Erziehung und Unterricht. Ein Beitrag zur Geschichte der Pädagogik des 17. Jahrhunderts. Inaugural-Dissertation. Leipzig. Druck von B. G. Teubner. 1892. 川又祐訳「ゼッケンドルフと彼の教育・教授思想——17世紀教育史論—— (抄訳)」『秋田論叢』15、1999年。

Rechter, Gerhard. “Veit Ludwig von Seckendorff-Gutend (1626–1692).” in : Alfred Wenderhorst und Gerhard Pfeiffer (hrsg.), *Fränkische Lebensbilder. Neue Folge der Lebensläufe aus Franken*. Bd. 12. 1986. Neustadt / Aisch. Kommissionsverlag Degener & Co. pp.104–122.

“Rötger, Gotthilf Sebastian”, in : *Hessische Biografie*.

<https://www.lagis-hessen.de/pnd/115378480>

“Gotthilf Sebastian Rötger”, in : Wikipedia

https://de.wikipedia.org/wiki/Gotthilf_Sebastian_R%C3%B6tger

Ruge, Hans-Jörg. *Vom Bibliothekar zum Geheimen Rat. Aspekte der beruflichen Laufbahn Veit Ludwig von Seckendorffs (1626–1692) in den Jahren seiner Anstellung im sachsen-gothaischen Staatsdienst (1646–1664)*. Abschlußarbeit. Gotha. 1992. 川又祐訳「図書館員から枢密参議官へ——ファイト・ルートヴィヒ・フォン・ゼッケンドルフ (一六二六—一六九二) がザクセン・ゴータ国に勤務した時代 (一六四六—一六六四) における経歴の諸相」『政経研究』49 (2)、2012年。

Seckendorff, Hanß Qvirin von. *Rede / Welche in dem hohen Saal / auff dem Fürstlichen Hauß Friedenstein / in beyseyn der Fürstlichen Cantzler und Rätthe / Adelichen Hoff-Officianten / und sämptlicher Hoffstatt / Cantzley- Consiftorial- und Cammer- Verwandten / auch des Kirchen- und Schul-Ministerii, und des Raths zu Gotha / Gehalten worden / Als der Fürstliche Körper Des weiland Durchleuchtigen Hochgebornen Fürsten und Herrn / Herrn Johann Ernsten des Jüngern / Herzogen zu Sachsen / Jülich / Cleve und Bergk / Landgraffen in Thüringen / Marckgraffen zu Meissen / Graffen zu der Marck und Ravensbergk / Herrn zu Ravenstein / & Christmilden Andenckens / Aus obgedachtem Saal in die Fürstl. Hoff- Kirche getragen werden solte*. Den 11. Januarij 1658. Von Hanß Qvirin von Seckendorff / zu Obernzenn. GOTHA Gedruckt durch Johann Michael Schalln.

<https://opendata.uni-halle.de/handle/1981185920/97337?mode=full>

Stargardt, J. A. *Autographen und Urkunden aus drei Jahrhunderten Katalog* 684. J. A. Stargardt. 2006.

<https://www.yumpu.com/de/document/view/4006214/3034-stargardt-katalog-684-inhalt-ja-stargardt>

Stolleis, Michael (hrsg.). *Staatsdenker im 17. und 18. Jahrhundert*.

Reichspublizistik · Politik · Naturrecht. 2., erweiterte Auflage. Frankfurt am Main, Alfred Metzner Verlag. 1987. 佐々木有司・柳原正治訳『一七・一八世紀の国家思想家たち——帝国公（国）法論・政治学・自然法論——』木鐸社。1995年。

Tentzel, Wilhelm Ernst. *Saxonia Numismatica oder Medaillen-Cabinet von Gedächtniß-Müntzen und Schau-Pfennigen/ welche die durchlauchtigsten Chur- und Fürsten zu Sachsen Ernestinischer Haupt-Linie prägen und verfertigen lassen/ aus vielen Cabineten mit Fleiß zusammen gelesen/ in schöne Kupffer gebracht/ und aus der Historie und Stamm-Registern erläutert durch Wilhelm Ernst Tentzeln/ Königl. Pohln. und Chur F. Sächß. Rath und Historiographum*. Verlegt durch Christian Wermuthen/ Käyser. privilegirt/ auch Königl. Preußischen Fürstl. Sachen-Gothaischen Medailleur. Zu finden in Franckfurt am Mayn bey Friedrich Knochen/ und in Leipzig bey Philipp Wilhelm Stocken/ Buchhändlern. Dreßden gedruckt beyrn Kön. Hoffbuchdrucker/ Joh. Riedeln. 1705.
<https://www.digitale-sammlungen.de/en/view/bsb11929856?page=,1>

※本稿で示された URL は2025年 8 月現在のものである。

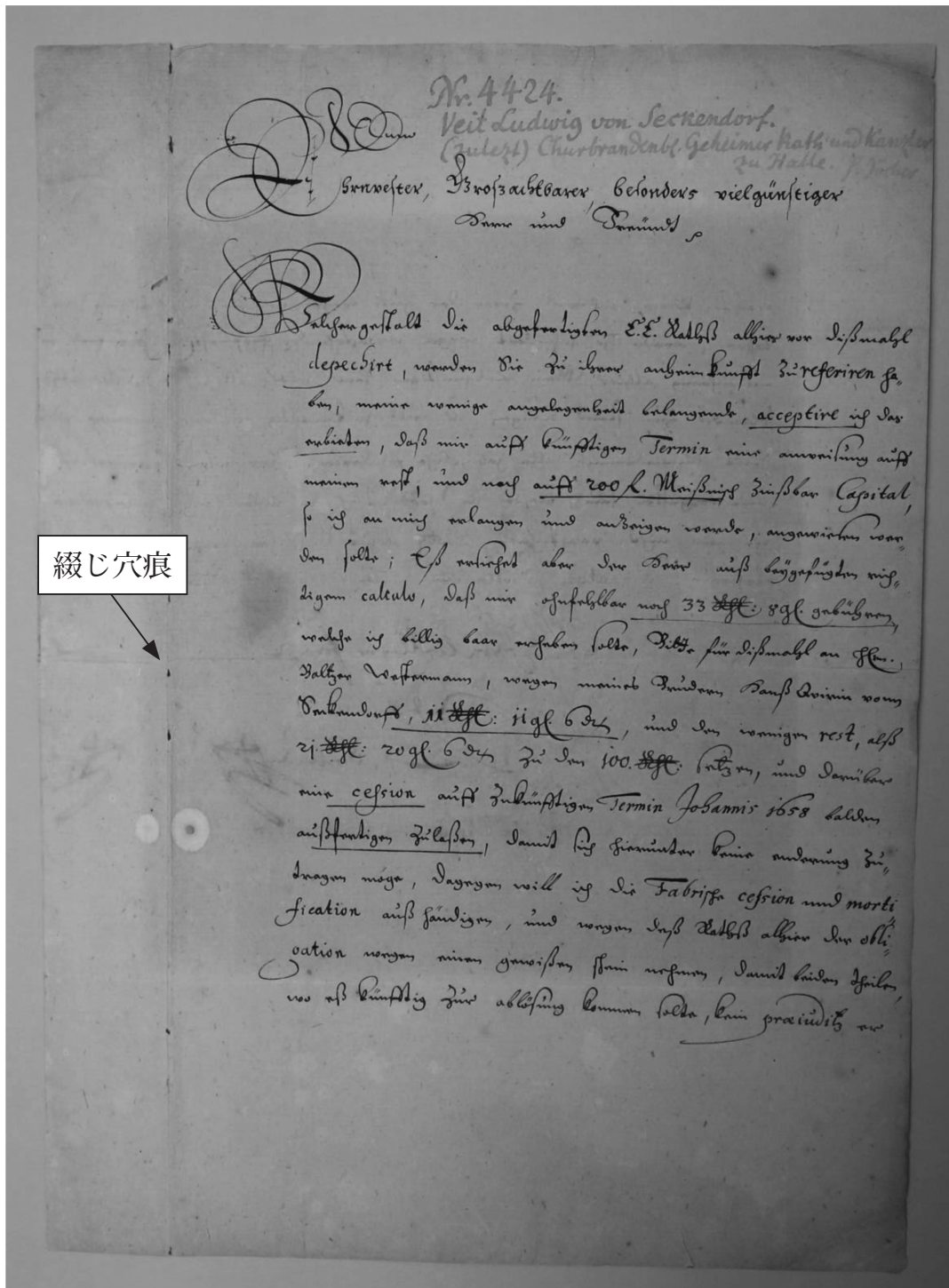
V. L. v. Seckendorff's Autograph Letter and the Medal of Ernest the Pious (Ernst der Fromme)

KAWAMATA Hiroshi

V. L. v. Seckendorff (1626-1692) is regarded as one of the leading figures in German cameralism. He served Ernest the Pious (Ernst der Fromme. 1601-1675), Duke of Saxe-Gotha. Seckendorff's autograph letter, dated 11 August 1658, reveals that he was providing financial support to his younger brother, Hanß Quirin von Seckendorff (1635-nach 1692).

The medal features a bust of Ernest the Pious on the obverse and a seated female figure of *Pietas*, holding a cornucopia and a palm branch, on the reverse. The medal commemorates his successful and virtuous reign.

図4 書簡表面 p.1



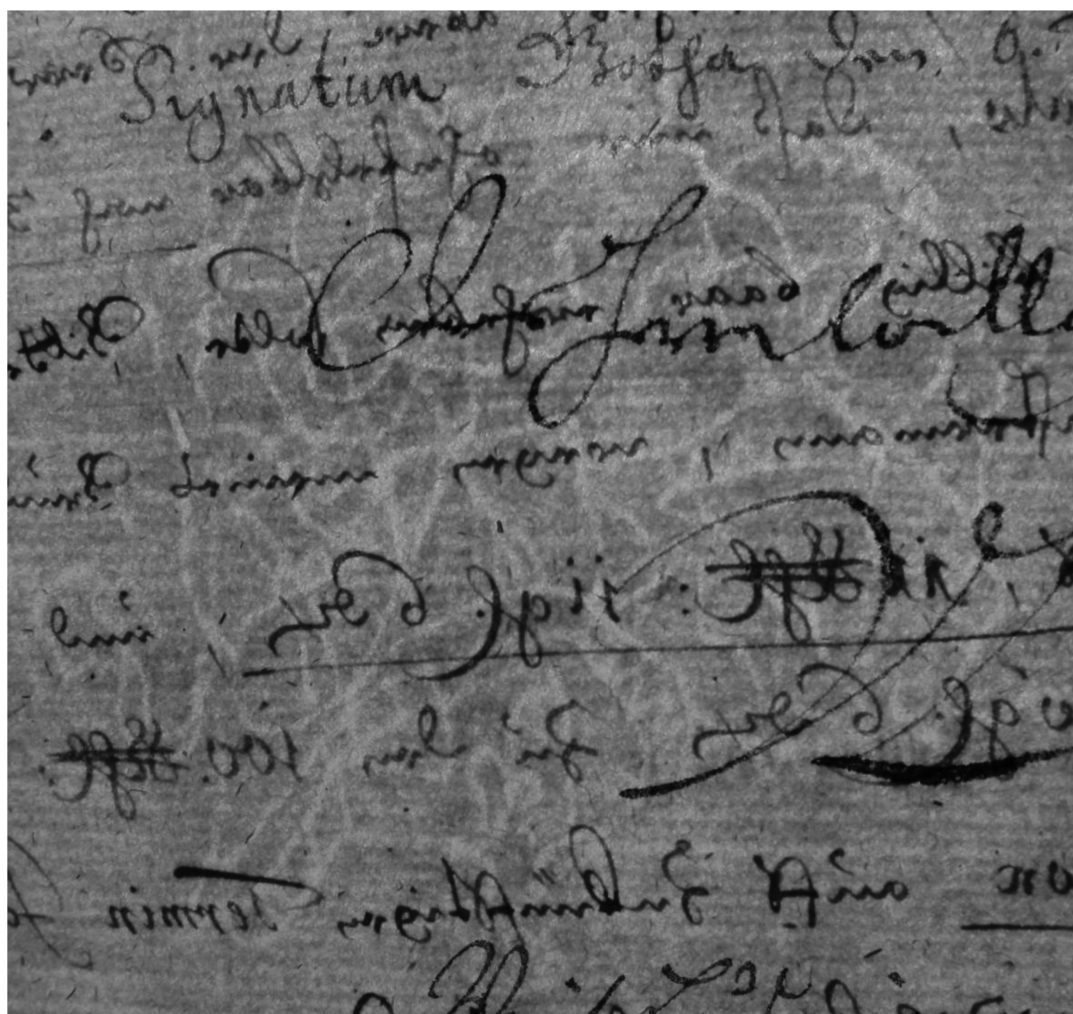
綴じ穴痕

ゼッケンドルフの自筆書簡とエルンスト敬虔公のメダル (川又)

四一 (三三九)

図6 透かし模様

ゼッケンドルフの自筆書簡とエルンスト敬虔公のメダル（川又）



三九（三二七）

図7 エルンスト敬虔公のメダル



出典 バイエルン国立図書館公開画像 図62のIV番画像を切り取っている。右腕付け根に「CS」の文字がやはり刻まれている。

Tentzel, Saxonia Numismatica. Dux Ernestus Gothanus. Tab 62 IV. between pp.754 and 755.

<https://www.digitale-sammlungen.de/en/view/bsb11929856?page=908,909>

図8 エルンスト敬虔公のメダル（ゲッティンゲン大学所蔵）



ゼッケンドルフの自筆書簡とエルンスト敬虔公のメダル（川又）

出典 https://www.kenom.de/id/record_DE-MUS-062622_kenom_384341

図9 メダル表面：エルンスト敬虔公の胸像



右肩付け根部分拡大図 「CS」の刻印

図10 メダル裏面：ピエタス像



ゼッケンドルフの自筆書簡とエルンスト敬虔公のメダル（川又）

図11 エルンスト敬虔公肖像画



出典 ハイデルベルク大学公開画像 画像は余白部分を削除している。

<https://digi.ub.uni-heidelberg.de/fwhb/klebeband1/0193/image,info>

<https://doi.org/10.11588/diglit.3863#0193>

Fürstlich Waldeckische Hofbibliothek. Klebebände (Band 1). p.189. Jacob von Sandrart (J. Sandrart sculpsit. Norinbergae 1677)

エルンスト敬虔公のモットー (IN SILENTIO ET SPE) が彼を取り巻いている。

図12 エルンスト敬虔公「苦く甘き人」

ゼッケンドルフの自筆書簡とエルンスト敬虔公のメダル (川又)



出典 Wolfenbüttel Digital Library - Sources. HAB 画像は余白部分を削除している。

<http://diglib.hab.de/drucke/17-4-1-eth/start.htm?image=00053>

メリアンの『結実協会』(Merian (b). 折記号: E iij)。